

第 36 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 8 年 4 月 27 日（月） 午後 6 時 00 分から午後 7 時 30 分まで		
開催場所	市民活動センター「ゆいわーく茅野」 3 階集会室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	5 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>第36回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。 詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 第36回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。</p>		
副会長	<p>2 副会長あいさつ 皆さんこんばんは。 本日は会長に代わりまして、最初にご挨拶をさせていただきます。 今日は非常に大事な、料金に関わる議論をしっかりやる時間を取りたい と思いますので、挨拶はそこそこに、早速中身に入りしたいと思います。 よろしくお願いします。</p>		
副会長	<p>3 委員の交代について ——事務局より説明——</p>		
副会長	<p>4 協議事項 (1) 「のらざあ」利用料金等の見直しについて ——資料 1 をもとに事務局より説明——</p> <p>今回の再検討は、前回会議での委員の意見をもとに行っており、新しい委員の方もいらっしゃいますので、補足があればお願いいたします。</p>		
委員	<p>前回の会議の中でいくつか提案をさせていただきました。 なぜそのようなことを提案したかを中心に説明します。 背景にある「いつでも行きたい時に行きたい場所へ、しかも適正な金額で」という点と、「将来にわたり安定的な運行体制を構築する」という両方を両立させる必要があると考えています。 便利になればさらに便利を求めるのが人間の心情であり、どこまでも要望は出てきます。 安定的な運行体制を構築するためには、ある程度線を引き、「これ以上の利便性を求めるためには何かが変わらないといけない」というところも視野に入れる必要があります。 また、健康長寿を目指す点では、ある程度「歩く」ということを視野に入れておく必要もあるのではないかと。 駅の周辺施設を考える際も、電車とぴったり合わせるようなことが全体を捉えた時に本当に必要なのか。 利用料金の見直しと区分の関係は交通政策の基本的な部分、割引対象は福祉政策的な部分と捉えています。 5kmから10kmの区分を分けた理由は2つあります。 1つは他の乗り物とのバランスです。 通勤通学支援バスや生活バスなどの料金形態を見た時、5kmから10kmを一つの括りにするのは少し乱暴ではないかということで区</p>		

副会長

切りました。  
もう1つの理由はタクシーとの比較です。  
タクシーは複数で乗ると割り勘で1人当たりの価格が下がりますが、「のらざあ」は人数分かかります。  
「のらざあ」ばかりに頼らずにタクシーを使うことも検討できるよう、4人で乗車した時にどちらが得かという余地が生まれるような価格設定を提案しました。  
割引に関しては受益者負担の適正化です。  
距離が長くなればそれだけ料金が上がる利用をしているので、1/2という考え方をするのか、もう一度考える機会を設けたいと提案しました。  
利用者のボリュームゾーンは2kmから3kmの間で、6割は6km未満で利用しています。  
1人の輸送コストは700円ですが、現行料金では約3,000万円の収入しかなく、コストに対して負担が少ない状況です。  
一気に理想に持っていくのは無理だと思いますが、どういう価格・割引設定が良いのか、皆様で考えていただければと思います。

補足説明も踏まえつつ、各テーブルでグループワークをお願いいたします。

——各テーブルでグループワーク——

(2) 蓼科湖方面バスの実証運行内容について

——資料2をもとに事務局より説明——

副会長

この件についても、委員の意見をもとに行っておりますので補足があればお願いいたします。

委員

「便利すぎる、手厚すぎる」と言ったのは、茅野市全域を見てそれぞれの公共交通のバランスを意識する必要があるからです。  
今回、延伸が上下4本ずつあり、かなり充実します。  
最も早い朝の上りと夕方の下りの運行についてですが、通学する子供たちのことを考えると6時48分発は必要ですが、通院や買い物には早すぎます。  
下りに関しても、現在中学生が最も多く利用しているのは17時台の路線です。  
新設しようとしている19時15分発などは、生活支援という点では想定しづらいのではないかと考え発言しました。  
上り下りそれぞれ1本ずつくらいは省くことができるのではないかと考え発言しました。  
また、乗り換えについても、中央病院を経由するスタイルは従来のコミュニティバスと同じですが、今は「のらざあ」があり、予約時間をうまく設定すれば乗り継ぎができるはずですが。  
実証運行の中に乗り継ぎを取り入れ、そのイメージを払拭できるか、あるいはやはり抵抗感があるのかを確認することも視野に入れるべきだと考え、乗り換えの考慮を提案しました。

副会長

補足説明も踏まえつつ、各テーブルでグループワークをお願いいたします。

——各テーブルでグループワーク——

副会長	<p>予定のディスカッションをしていただきました。協議事項は以上の2項目になります。          その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>5 その他          特になし</p> <p>6 閉会          グループワークへのご協力ありがとうございました。          本日出していただいたご意見につきましては、記録した資料をもとに事務局で集計させていただきます。          その内容につきましては、次回の検討会議で共有させていただきます。          それでは以上をもちまして、第36回茅野市新地域公共交通検討会議を閉会させていただきます。          ご協力ありがとうございました。</p>